



サーバス九州

日本サーバス九州支部会報 No.153 2013年2月20日発行 支部長 緒方智子

寒さで縮こまっていたら、余所さまの庭のモモやウメの花が満開でした。枝垂れウメの見事さに寒さを忘れ、しばらく観賞させていただきました。よく見るといろいろな木の花が蕾をふくらませ、咲く時期を待ち構えているようです。

天気の良い日にはニホンミツバチはせっせと花粉を運んでいます。きっと巣箱の中では幼虫が花粉の餌を待っているのでしょう。春はもうそこまで来ているようです。

みなさま、お変わりございませんでしょうか。予定より少し遅くなりましたが、サーバス九州支部会報 153 号（2013 年 2 月号）をお届けします。

内容は以下の通りです。受け取られたら受信連絡をいただくと安心します。よろしくお願いいたします。

- 1 2013年度九州支部会議のご案内
- 2 トラベラー受け入れとトラベリング
 - ・初めてのデイホスト
 - ・ウズベキスタン旅行
 - ・冬の英国と夏のケニヤへの旅
- 3 釜山支部からの申し出について
- 4 サーバス九州会員情報
- 5 日本サーバス国内会議のご案内
- 6 サーバス九州連絡先等（常掲）

1. '13 九州支部会議と世界旅行報告会のご案内

2013年の九州支部会議については昨年4月の会議の折、泊を伴わない会を福岡地区のお世話で開催することが確認されていきましたので、福岡のT会員が中心になって会場設定等のお世話をしてくださっています。

その結果、今年度は今までとは一味違った支部会議案がまとまりました。どうぞ、みなさま、万障繰り合わせてご参集くださいませ。

期日： 2013年 4月 20日（土）13時30分～

会場： 西南大学コミュニティセンター2F会議室＋西南クロスプラザ2階レセプション室

日程： 13:30～13:50： 受付・団らん（コミュニティセンター2F会議室）
14:00～15:00： 世界旅行（含サーバストラベリング）報告 福岡 寺嶋章江会員
15:00～16:30： 支部会議
17:00～19:30： 夕食・懇親会クロスプラザ2Fレセプション室

費用： 夕食・懇親会（ソフトドリンクを含む）一人2,500円（アルコールは別会計）

行き方： 地下鉄：「西新」（nishijin）駅で下車。3番出口が便利
バス：修猷館前下車

駐車場：3台は大学構内の駐車場に駐車可。1台は事務局用。残り2台は遠方の方がお使
いください。（事前に緒方に連絡をお願いします）
他は申し訳ありませんが、近くの有料駐車場をご利用ください。
参加申し込み：支部長宛、お申込みください。会場準備の都合もありますので、4月10日まで
に最終確認をしたいと思えます。懇親会参加の可否を含めてご連絡ください。時が
近まりましたらあらためて各自にはがきをお出します。

西南大の近くには国指定史跡・元寇防塁の跡があります。福岡市博物館も近いです。
会場のコミュニティセンターの横の建物は一般観覧自由の西南大博物館です。
コミュニティセンターの近くにはクロスプラザ（カフェテリア）もあり、一般にも開放され
ています。
この会場は西南大の先生のお世話で借用しています。T先生も会場に顔を出してくださると思
います。

2. トラベラー受け入れとトラベリング

初めてのデイホスト（受け入れ）

（長崎県）

N 会員

2012年10月5日、クルージング途中で長崎に立ち寄られたオーストラリアの女性を友達
と二人で案内しました。なにせ初めてのデイホストなのと、長崎観光に関しては何十年も前の知
識しか持ち合わせていなかったの、下調べを兼ねてまず自分たちが観光してみようということ
になり、時間を計りながら見て回りました。びっくりしました。どこもきれいに整備されていて、
説明書きなども適切で、とても勉強になりました。

彼女とは、会う前から、何度もメールをし合って、自由時間がどのくらいあるかとか、歩行補
助車を使われるということだったので、どこにどういう風に案内すればよいかなど、綿密に計画
をたて、案内する場所だけをまとめたガイドブックもコピーしたりして独自のものを作りました。

特に平和会館では、説明書きを熱心に読んでおられたので、そこに2時間半ぐらいはいたでし
ょうか。とにかく学校の先生をさせていただきあって、何にでも興味を示されて、
喜んでいただけたようです。案内する方も嬉しかったです。まずは成功でした。

パリでデイホスト（トラベラー）

（長崎県）

N 会員

11月1日から11日までフランスのノルマンディー地方へ旅行しました。
今回は建築家たちのグループに混じって、観光とともに新旧の建築物などを見て回ったのですが、
単なる観光だけではなく、説明も専門的で大変興味深いものでした。

惜しいかな、地方では団体行動だったので、サーバスのメンバーはリストには何人か見つけたも
の、会う時間はありませんでした。美しい街々だったので、また行ってみたいと思っています。
帰国前のパリでの3日間は自由行動ができたので、日本を出発する前に会える方を二人探しまし
た。一人目の方はホテルに迎えに来てくださって、ポンピドーセンターなどを見学、あとは周辺
で食事をしたり公園を散策したり、部屋に案内して頂いてお茶を飲んだり、夜はまた絵を見に行
ったりしました。彼女は絵を描くことが趣味で私も好きなので話がはずみました。彼女の友人の
日本人画家にも会いました。私のつたない英語でも、なんとか理解して下さったので助かりま
した。

次の日、二人目の方とは時間があまりとれなくて、部屋にも案内して頂いたのですが、リビン
グルームの壁を塗り替え中だったので、近くのカフェでお話をしました。

お二人に会うまでは、行き違いのないように何度も確認のメールを入れたり、パリでも、前の晩
に電話をしたり、本当にハラハラドキドキでしたが、会ったとたんに、ずっと緊張がほぐれて、
もう以前からの知り合いのような気分になってしまいました。

たぶんお互いサーバスメンバーだということや、留学生の友人もいるし、テレビの世界旅行の番
組のおかげかなとも思います。どこの国の人でもとても身近に感じられるようになってきました。
もう少し英会話が上手になりたいのですが、これがこの歳になるとなかなか難しい、もっとまじ
めに勉強しておけばよかったと、つくづく思います。

ま、ケセラセラで行くことにします。

ウズベキスタン旅行記

(大分県) 0 会員

(秋例会の二次会でウズベキスタンの衣装で現れた 0 会員の報告にみんな興味津々。その旅行記を書いていただきました)

2012 年の 9 月中旬、以前私の家でホームステイをしたロシア在住のウズベクの娘 N から、「ママ！ ウズベキスタンで結婚式をするのだけど来てくれる？来てくれたら嬉しいのだけど」との突然の電話に「勿論、行くよ。私の娘の結婚式だもんね」と返事をしたもののビザを取ったりチケットを買ったり、何より言葉の壁が大きいのしかかって、とても不安でした。

彼女は 6 年前、APU の留学生で 10 か月間日本に居た後フランスに交換留学生として行くことになりましたが、その時、最初の宿が決まっていなかったことなのでサーバストラベラーの M さんを紹介し、彼の家で 2 週間お世話になった学生です。

さて、すべて用意が出来たので出発です。

10/19 福岡空港 11:50 発から仁川 17:30 発経由でウズベキスタン (O'Z) に向かいました。機内で貴重品等の申告用紙を渡されたのですが全く知らない O'Z 文字で困ってしまいました。が、持っていたサーバスの名刺を渡して思い切って隣の O.B に「Help me please!」と声をかけたら快く全部書いてくれ、飛行機が到着したあとも荷物を受け取り「N と連絡がついたよ」と OK のサインを出すまで一緒にいてくれました。お礼に持っていた和菓子をあげたら彼も持っていたウズベキスタンの人形をくれました。パスポートと荷物の確認まで色々な人が割り込んできて、私は思わず日本語で「ちゃんと後ろに並びなさい」と大声をあげる一幕もありましたが、2 時間掛けてやっと外に出ることが出来ました。

夜 11 時頃 Tashkent 市内の homestay 場所に着きました。

10/20 早朝 N の祖母の家でお別れ式。太鼓やラッパの音楽、100 人位の親戚やご近所の方たちの伝統的な厳粛な式典、食事会の風景、お年寄りや大勢の方達からの私を歓迎する kiss に感激して涙が出ました。彼女達の写真撮影の間、日本語学校に通ってる Se と Sa が迎えに来てタシケント市内を少し案内してもらった後、Se の家を訪問しました。彼女の家族と友達でお茶して、時間が来たので式場に行きました。320 人位のお客、楽団の演奏、歌手の歌、ダンサーのダンス、それが終わると次から次へと皆さんが中央の通路でダンス 勿論私も生まれて初めてのリズムダンス。何もかもが新しい経験でした。

10/21 N の嫁ぎ先の家族がこちら側の親戚の女性を招待してくれるというので 15 人の大勢で行きました。玄関には風船や花などで作ったゲートがあり、椅子等が並べられていました。激しいリズムの音楽に迎えられ、部屋の中でお茶や食事などを取った後、外で嫁披露の式典です。近所の方達からお祝いを頂いたあと、お礼用に用意をしていた品物を渡すのが 1 時間位かかり、子供達に御菓子や小物を配ったあと、またまたダンスです。日本のママの紹介をしてもらい綺麗な服を着せて戴いたので、私もダンスでお礼をしました。

10/22 親戚の御嬢さん達 3 人と私で Samarkand に行きました。新幹線に乗る時も車内でもパスポートの提示を求められました。Samarkand では 5 つのモスクを訪問しました。シルクロードの発祥地や礼拝堂の見学等とても良い勉強になりました。N の友人のご両親に昼食をご馳走になり、私が日本人と知ると沢山の料理を注文してくれました。OZ では出してくれた食事は全部食べないととても失礼になると事前の勉強で知ってはいましたが流石に食べられなくてガイドのお兄さんに手伝って頂きました。帰りの電車の中で退屈している御婆さんたちがいたので、折鶴を一つ This is a present for you!! と言って渡すととても喜んで折り方を教えてくれと言うので折ってしまいたら 5~6 人の人達が集まって写真を撮っていました。私の名前を書いてくれと紙を出したのでサーバスの名刺を渡しました。小さな国際交流も楽しかったです。

10/23 N の嫁ぎ先で私の為のウエルカムパーティをして頂きました。家族や友人の方達大勢集まって頂き私はお土産に持って行ったすし太郎と海苔でおにぎりを作りましたが彼らには味があわないらしく生サーモンの塩漬けのさしみとチーズをおにぎりに巻いて食べていました。さすがに私はだめでした。

23 日のフライト時刻が夜 10 時なので時間がありましたので、近くに親日家が開いている小さな日本博物館があるので皆さんで行きました。中国との戦争の時、日本人収容所にいた 2500 人の人達の残した数々の写真や手紙、日本人が作った子守用のぶらんこ等 8 畳くらいの部屋に所せますと、然し、整理して飾ってありました。病気になって帰るに帰れない兵士の詩に涙

が止まりませんでした。今のウズベクがあるのは日本のおかげだと感謝して私の生きている間は
このように飾っていたいと自費で開いておられます。以前羽田孜総理も来てくれたそうです。日
本の人達に私達の気持ちを解って欲しいとおっしゃられていました。私も日本に帰国したら少し
のお手伝いをしますと約束をしました。

午後はバザールにお土産を買いに行きました。嫁ぎ先のパパはあなたの欲しいものは何でも買
いなさい、全部私が支払います、と言ってくれましたが、何となくそれは出来ませんでした。モ
スリムの世界ではお客様が1番上だから最高のもてなしをするのだと聞いてとても嬉しく思いま
した。

空港には家族の方たちのお見送りをうけて私は1人ずつ心をこめてハグをしました。空港の中
には誰も入ることが出来ないのも外での見送りですが、言葉が解らないので通訳としてNodira
に特別に入ってもらい搭乗手続きをしてもらいましたが、3時間遅れで、やっと飛行機の中に乗
ることができました。その上、出発前になってお客同士の喧嘩がはじまり警察官が男の人を連行
するなどのハプニングがあり、深夜1時すぎに離陸して仁川に向かいました。日付変更線を越え
て24日早朝仁川に着きました。待ち時間5時間の仁川空港内ではウインドウショッピング、マ
ッサージなどをして過ごし、何とか帰国することが出来ました。

異文化を知りたい好奇心から、留学生たちと出会い、彼らを通して、新しい多くの人たちとの
出会い。

、何年か前アメリカ人のSが沖縄で仕入れてきた言葉（「いちやりばちょうで」～出会った人、
皆兄弟。この言葉大好きだよ）を思い出して私もホントにそう思いました。心の交流、今の私の
生きがいです

冬の英国と夏のケニヤへの旅

(長崎) O 会員

この1月、近所に住む従妹がイギリスのオックスフォードに住む彼女の娘の初出産の介抱に
行きたいというので、娘宅まで連れ添ってあげることにしました。イギリスのお産事情を聞くの
も面白そう、そういえば、冬のイギリスは行ったことがないな、ついでにケニヤにも足を延ばし
てみるか、などのちょっとした軽いノリでの旅行でした。

イギリスではオックスフォード(Oxford)で4日間過ごした後、コッツウオルズ(Cotswolds)
地方に含まれるストラウド(Stroud)とバース(Bath)へ。

Stroudのサーバスホストはと私と同じ年代のJさんとそのパートナーであるL。Jはグリー
ン党の政治家で、町とその地域(district)の議員(council)さんです。駅まで歩いて迎えに来て
くれましたが、とてもフレンドリーな人で、会う人ごとに彼に声をかけてきますので、なかなか
自宅にたどりつきません。Jはcouncilの中で互選される町長(Mayor)も経験されていました。
そのmayor時代は町の中心にある公園の一角に「町長の長椅子」(mayor's bench)を置き、土
曜日の2時間ぐらいいつもそこに座って、人々との対話を続けられたそうです。Lが「彼は今
も人気があって、選挙ではいつも他の候補者を引き離して最高票を得るの」と話してくれまし
た。Lはart therapist、仕事場になるアトリエももっています。専門家同士でプロジェクトを
持ち、自室での何人かの人たちとのビデオ会議がしばしば。おもしろい人たちとの出会いでした。

彼らの仕事の邪魔をしたくなかったので昼間は一人でコッツウオルズの村をいくつか歩き回
りました。途中、雪が降りましたが、あのハチミツ色の家々は雪の中では幻想的な雰囲気を作り
出します。どこも「絵になる」光景でした。

3日目は3人で彼らのいきつけのカフェでランチをして、街を少し歩き、keep in touch
を約束し、駅でハグして別れました。

バース(bath)では大雪。駅まで出迎えてくれることになっていたSは80歳。「何とかして
お宅には伺うので家にいてください」と電話連絡を送り、頑張って行ってみることにしました。
雪の上をカートを転ばすのはつらい。車あまり通らないことを幸いに車道を歩いて、近くまで
行き、電話。Sは長靴を履いて、赤いオーバーで体を覆い、杖をついて外で待っていてくれまし
た。家に入ったら、「スープにする？ お茶にする？」と問われ、「スープ」を所望。わざわざ
つくっておいてくれたのです。体も心も温まりました。

彼女は数年前に、画家だったご主人を亡くし、今は独居。子どもたちはそれぞれ家族をもっ
てロンドン等に在住。料理やガーデニングが好きな素敵なおばあさんです。たくさんおしゃべり

を楽しみました。「こんな雪の中、ケニヤなんていかないでここにずっといたら？面白い友達のところも紹介するよ」と言われましたが、せっかく航空券代を払っているのもったいないからと雪の道を歩いてバス停に向かいました。家の中からいつまでも手を振ってくれていました。

ケニヤはずっと以前から行ってみたかったところでした。同じ研究会に属していた知り合いが夫婦でケニヤに移住し、「来ませんか？」と誘われていたので、訪問の機会をうかがっていたところでした。

夜、ヒースロー空港を飛び立った飛行機は約8時間後の朝方ナイロビに到着（時差3時間）。ナイロビではサーバスホストのHと会う手筈が整っていましたが、まずは友人のいるカイモシへ行くことにしました。国内線でキスム（オバマ大統領のお父さんの出身地）空港へ飛んで、彼らの住むカイモシに向かおうと航空券を購入していたので、国内線カウンターに出向いたら、航空会社が倒産し、飛行機は運行停止。別のエアラインのチケットを購入して搭乗したらとのこと。呆気にとられてその気にもならず、長距離バスで行くことに決心。街までタクシーを飛ばしてバス乗り場へ直行しました。ナイロビの街中はまあよく混んでいます。やっと長距離バスの朝の便に間に合い、乗車。バス自体はリクライニングシートでなかなか快適。いいぞ、と思っていたら、途中から道路状況が極めて劣悪に。上下左右によく揺れます。半端じゃありません。その昔、舗装していないデコボコ道を通勤していた時、車の棒ギアが何度もはずれたことを思い出しました。それでも、黄金のアカシアの林や野生のシマウマに感動したり、近くの乗客とおしゃべりしたりしているうちに7時間半はすぐに経過し、目的地カイモシに到着です。友人夫妻の出迎えを受け、バイクタクシー（ピキピキ）に乗ってコイバラック村の自宅に向かいました。

友人夫妻は『こんなところに日本人が』というTV番組に登場。1月に放映されていたので、もしかしたら、ご覧になられた方があるかもしれません。

その村で地元の方のお宅でウガリとケールの炒め物をごちそうになったり、学校を訪問したり、友人夫妻が立ち上げている有機農業推進のNGOのミーティングに出させてもらったりして、Kenyan lifeを楽しみました。標高1700メートルのここは赤土と緑の大地。庭にはバナナ、パパイヤ、マンゴー、アボカド、ガヴァ、パッションフルーツなど、たくさん実がなっています。果物に目がない私には天国！

ここで3泊してまた8時間バスに揺られてナイロビへ。

ナイロビのバス停ではサーバスのHが迎えてくれました。バスの遅れで、Hに連絡していた時間が大幅に遅れていたため、少し、焦り出し、バスがとまるごとに“Westland?”と運転手に尋ねていたら、“No! ポレポーレ!”と言われてしまいました。ケニヤではどこでも、ポレポーレ（焦らない。ゆっくり!）です。運転手に教えてくれるように頼んではいましたが、飛行機事件で少し懐疑的になっていましたので、ちょっとハシタナイ行動になっていたのでしょう。

やっとHと会い、ホッ。彼はインドの大学に留学し、イギリスで修士号をとったというビジネスマン。ナクルという町に大きな農園も持っているそうです。ナイロビに着いたのが5時頃でしたので、市内は大混雑。車は長い渋滞。周りを見たら、日本車ばかり。5台のうち3~4台は日本車じゃないかと思われるほどでした。この日は彼の家に親せきの人たちが来ているということで、迷惑をかけたくなかつたのでホテルに泊まることにしました。

翌日は自分で勝手に動こうと思っていたら、彼が案内をしてくれるというのでお願いをしました。ショッピングモール（おしゃれなところ）へ行って昼食をとり、市内をドライブ。建築中の自分の家にも連れて行ってくれました。英国風の大きな家です。コイバラック村でみた家々とは全く違います。都会と田舎ではかくも格差があるのか、と見せられた感じでした。最後は行きたいと思っていた国立公園に連れて行ってもらい、一緒にぶらついた後、空港で別れました。ケニヤにもサーバスがあることがわかってうれしく思ったことでした。

今回はオックスフォードまでの旅程を除けば全部一人旅でしたが、「さびしい」とも「不安」とも全く思いませんでした。機内、バス・列車の車中、飛行場・・・どこでも好きな編み物をしたので、気が紛れていたのでしょう。また、待ってくれている人（サーバスホスト）がいる安心感と期待もあったからでしょう。それぞれに味のあるいい学びの旅になりました。

3. 釜山支部からの申し出

<みなさんのご意見をお聞かせください>

サーバスの秋例会で、スンチョンの庭園博に行きたいね、という話がでていましたので、釜山支部のCさんと連絡をとっていました。そしたらCさんから、数日前に以下のようなメールが届きました。みなさんの意見をお聞かせください。メールでも電話でも構いません。（個人的には10月19日では、11月の大分例会と近いな、12日だったら何とかなるかなア。東アジアミーティングはどうなるのかなア～などを思っています）

(前略)

About visiting schedule of Korea, Can I suggest something?

There was a national meeting of Servas Korea to discuss annual plan a few days ago.

The location for the General Assembly of Servas Korea is Suncheon on 12 of Oct. or 19 of Oct. (during "Suncheon bay Garden EXPO2013)

I explained them your visiting schedule to Suncheon and they want meet you at the General Assembly of Servas Korea in Suncheon.

How about your opinion? If you can accept to meet at this period, I will arrange the schedule for the trip.

There are homepage of Garden EXPO : http://home.2013expo.or.kr/2013/2013_jp

(要約すれば、庭園博期間中の10月12日か19日のどちらかで韓国全体のサーバスミーティングをするのでその会に合流してみんなと会ってはどうか、OKであればそれを含めたスケジュールを作りたい、という申し出です)

4. サーバス九州会員情報

1 復帰

他支部に移籍されていたIEさんがまた、九州支部に復帰されました。

2 退会

宮崎の3名、大分1名の方が都合により退会されました。長い間、ありがとうございました。また、機会がありましたら、どうぞ、ご参加ください。

3 訃報

H.Fさん(サーバス九州副支部長)が1月28日佐世保での講演中倒れられそのまま、ご他界されました。

Hさんのサーバス歴は長く、サーバス旅行もかなりされています。最近では世界のミツバチ学会に出席の度にサーバス旅行と地元の方との交流を楽しまれていました。サーバスの方に地元の環境活動家や養蜂家を紹介され、どんどん輪が広がっている様子を伝え聞いていました。ご冥福をこころからお祈りいたします。訃報はメールをお読みのみなさんにはすぐにお知らせしましたが、会報郵送のみなさんには、ご連絡できませんでした。遅くなりましたが、メールした文書をコピーして同封いたします。

4 サーバス九州現況（2013年2月19日現在）

会員数 58 家族

<内訳：大分 17、熊本 6、佐賀 5、長崎 7、福岡 13、宮崎 10>

5. 日本サーバス国内会議のご案内と議題案

下記の要領で日本サーバス国内会議が開催されます。どなたでも出席できます。出席可能な方は緒方までなるべく早くお申し出ください。費用は個人負担になります。

件名：日本サーバス国内会議のご案内

本年度の国内会議を下記の日程と場所で開催します。奮ってご参集ください。
会議場での議決権の行使は本部支部役員またはその代理人に限られますが、会議への参加と発言は会員および会員以外でもサーバスに関心のある人に開かれています。
参加予定者のお名前を2月末日までにお知らせください。合わせて懇親会の出欠をお知らせください。

会議名 第35回(2013年)日本サーバス国内会議

日時 2013年3月16日(土曜日) 13:00-17:30 (続いて懇親会 18:00-21:00)
3月17日(日曜日) 09:00-11:30 (12時解散予定)

場所 16日会議 ハロー貸会議室蒲田 (JR蒲田駅西口1分)
東京都大田区西蒲田8-4-12 ユザワヤ蒲田11号館6階
電話照会は田中まで 090-9953-9074
www.kaijo.net/hall?nid=5116

16日懇親会 グランパークホテル パネックス東京 (JR蒲田駅東口1分)
東京都大田区蒲田5-9-19 電話(03)5703-1111
<http://www.hotelpanex.co.jp>

17日会議 大田区消費者生活センター大集会室 (JR蒲田駅東口1分)
東京都大田区蒲田5-13-26 電話(03)3736-7711
www.city.ota.tokyo.jp/shisetsu/seikatsu_center/index.html

議題案：

今年度の国内会議の議題の案として、以下を提示します。
ご意見、別提案、反対提案、追加提案等々を、今月末(2月28日)までに投稿して下さるようお願いいたします。

1. 2012年の本部の活動と決算報告
2. 2012年の支部の活動と決算報告
3. 2013年の本部予算案の審議と決定
4. 50年誌発行の総括
5. ポーランド総会参加報告

以上は定例の、または報告マターです。

以下は容易に結論の出る問題ではありません。議題として提起する方法から検討しなければなりません。

6. 日本サーバスの活動の活性化と会員増強。具体的な行動計画が描けるでしょうか？
7. 2013年11月開催予定の東アジアサーバス大会の準備。日本サーバスから提案、事例紹介等々できないでしょうか？
8. 被災者支援プロジェクトの現状と展望。プロジェクトとして継続、発展させるには何をすべきでしょうか？

9. ホストリストのネット掲載の可否。2014年から印刷リストを廃止する方向で考えられないでしょうか？
10. 国内会議の隔年開催の可否。メールによる討議と議決のルールを詳細決定したうえ、事務的な問題はネット上で進めることにして、国内会議は参加会員どうしの交流と親睦を主な目的にして1年おきに開催することは考えられるでしょうか？
11. NPO法人化の可否。法人化していないボランティア団体はどこでも相手にされないようです。手続きを進めるためのエネルギーと人材の手当が何とかできないでしょうか？

以上